

うじたわら

議会だより

No. 123
2025.5.1



未来へ 基礎づくり予算可決……………P2～P9

町政を問う（一般質問）

インタビュー（安岡雅人さん、聖枝さん）

P10～P15

P17

＝田原小学校卒業式＝

春、旅立ちの春。

行ってきます！次の舞台へ

第一回
定例会

未来へ 基礎づくり予算

令和7年度当初予算含む全案 可決

令和7年第1回定例会を3月4日から27日まで開催した。
予算関係10件(補正4件、当初6件)、
条例関係14件、一般議案2件(契約1件、その他1件)、人事関係3件につい

て提案があり、原案通り可決・同意した。議会提出の条例1件、議員提出の意見書1件についても可決した。一般質問は11人の議員たちが、活発な議論を展開した。

やすらぎのまちづくり

- 防災対応力強化事業費 1,368万円
- 消防分署整備事業費 1,281万円
- がん患者アピアランスケア支援事業費 20万円



つながりのまちづくり

- 公共交通利用推進事業費 328万円
- 宇治田原山手線関連事業費(工業団地線) 1億1,675万円
- 空家等総合対策事業費 190万円



会計別の令和7年度当初予算

(千円以下切捨て)

会計名	予算額	前年比(%)
一般会計	56億8,800万円	5.4
国民健康保険特別会計	10億438万円	△9.2
後期高齢者医療特別会計	1億8,562万円	3.2
介護保険特別会計	8億8,084万円	△1.9
水道事業会計	5億6,194万円	3.8
下水道事業会計	9億2,409万円	8.4
総額	92億4,489万円	3.0

町は第6次まちづくり総合計画および第3期地域創生総合戦略に基づき、4つのまちづくりの目標をめざすとした。

「未来へ 基礎づくり予算」と題して、住民サービスの維持・向上を基本に、まちの未来の象徴ともいべき子どもたちを育む

ための施策の充実をめざす。

安心安全のまちづくりをめざし、災害対策・自主防災の強化、福祉の充実、子育て支援などを行うとした。

令和7年度当初予算案含む全案を審査し、全案を可決した。

にぎわいのまちづくり

- ふるさと納税推進事業費 1億2,500万円
- 「ハートのまち」移住定住プロモーション事業費 132万円
- 大阪・関西万博観光誘客事業費 157万円

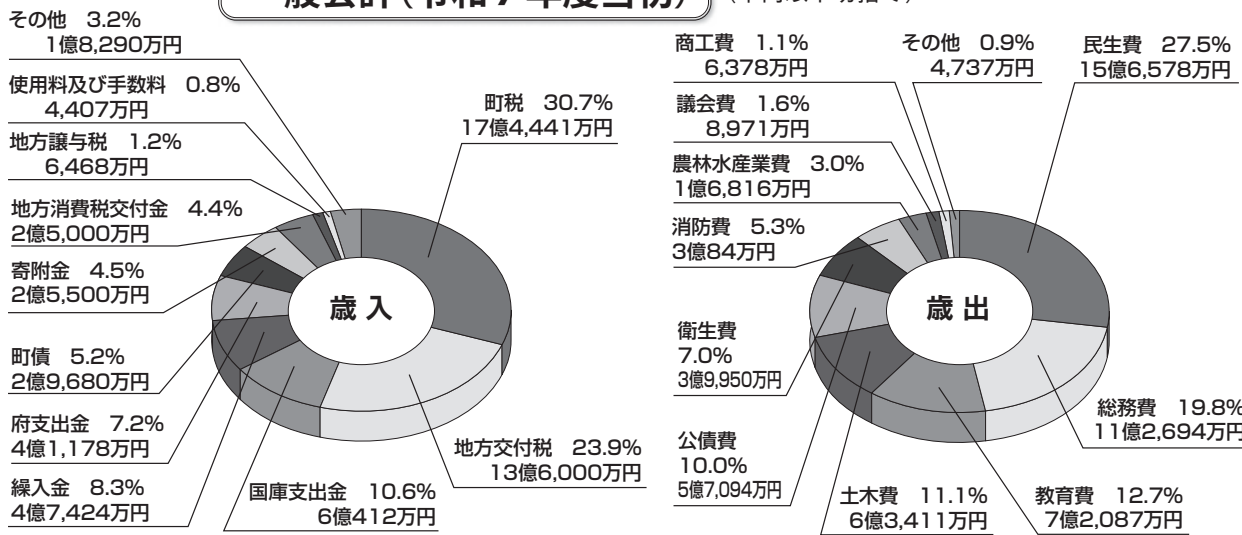


ハートのまちづくり

- 日本語教室運営事業費 100万円
- 高校生通学費補助金 2,239万円
- 総合文化センター改修事業費 5,963万円



一般会計(令和7年度当初) (千円以下切捨て)



*端数整理上、合計額と一致しません。

予算特別委員会

予算特別委員会は、3月10日に令和6年度補正予算を審査し、3月17日、18日、21日、24日の日程で、令和7年度当初予算を審査した。21日には2カ所の現地審査を行った。主な質疑は次の通り。

当初予算

ここが聞きたい（総括質疑）

人口減少をどのように考えているのか
(今西利行議員)

問 人口減少は全国的な課題であるが、施策により出生率を上げ、人口を増やしている自治体もある。15年後に人口が1,300人も減少するとしているが、人口減少についての考えは。

答 社人研の推計値より400人多い7,300人とした第6次総計の将来人口は、ハードルが高いと心得ているが、宇治田原ならではの資源や特性を活かし、地域経済の活性化を図ることで、未来への投資財源を生み出す好循環を築き、まちの発展につなげていきたい。

問 合計特殊出生率を2.9まで引き上げた岡山県奈義町や、転入が転出を上回る兵庫県明石市では、子育て世代への支援に特段の力を注いでいる。本町においても出生率を上げ、移住定住を促進するためにもこれらの先進地に学び、子育て世代への支援策を充実すべきでは。

答 先進自治体のロールモデルを見習って、本町でもできることは取り入れていきたいが、財源の確保も重要であり、どちらも進め、宇治田原ならではの子育て支援や教育の充実を図る。



予算特別委員会

もっと聞きたい（個別審査）

一般会計予算
(議案第5号)

補助金などの財源は

問 京都府南部消防指令センター共同運用整備事業費、消防分署整備事業費、及び消防施設整備費について、補助金などの財源は

答 交付税措置される有利な起債を充当していきたい。



現地審査（消防分署）

日本語教室の習得目標は

問 日本語教室運営事業費について、どの程度の習得をめざすのか。また1回のレッスンに参加する支援者の人数は。

答 学習者が地域の人々と共に日常生活を送ることができるよう基本的な日本語の習得をめざす。また、1回のレッスンに参加する支援者はおよそ10人を見込んでいる。

健活フェスタの内容は

問 健活フェスタについて、令和7年度、事業の拡充内容は。

答 官民連携先の拡大により、AR（拡張現実）体験や、糖尿病啓発などを行う予定。



健活フェスタ

PRで移住定住を

問 充実した子育て支援策やミラチャレ事業も併せてPRし、プロモーションの効果をより高めては。

答 移住定住を入口として、宇治田原ならではの子育て支援策や特色ある教育などと合わせてパッケージにし、横断的な発信をしていく。

来場者に町内の紹介を

問 西ノ山展望広場での大阪・関西万博観光誘客事業については、呈茶だけでなく、家康伊賀越えの道など様々な所を来場者に紹介するスペースを設けては。

答 今後、開催の内容を検討していきたい。

ALTを2名に

問 ALTが2名から1名に減ったが、2名に戻す考えは。

答 英語力の充実は重要だが、1名で担当する方が生徒と密接な関係性が築きやすく、中学校の英語の専科教員が小学校でも授業をしていることなどを勘案して1名体制としている。

高校生通学バス代の全額補助を

問 高校生通学費補助金について、全額補助に対する考え方は。

答 財源が獲得できれば全額補助を行いたい。

反対討論

国の悪政から住民生活を守る政策を
山本精議員

住民が安心して暮らすには、地域の平和、高齢者の生活支援、子どもを生み育てられる環境の充実が欠かせない。しかし、物価高騰が住民生活に大打撃を与えている。自治体に求められることは、国の悪政から住民を守り、国に政策の転換を求め、町として住民の願いに応える政策を実施することだ。給食費の無償化、高校生通学費全額補助、高齢者の介護予防、難聴者への補聴器購入補助制度、地域公共交通の高齢者や障がい者などへの無料パス制度などの創設を求める。

賛成討論

「未来を創造するための新しい一歩を踏み出す予算」と確信
谷口茂弘議員

勝谷町長就任後初となる令和7年度予算は、「未来へ基礎づくり予算」として、また、第6次まちづくり総合計画および第3期地域創生総合戦略の初年度として、「もっとずっと宇治田原～やすらぎつながりにぎわいハートのまち～」をまちの将来像として掲げ、安心安全、少子高齢化対策、都市基盤整備や教育の充実をめざすものである。消滅可能性自治体に分類されるほどの人口減少や、公債費などの義務的経費が増大する厳しい財政状況のなか、「未来創造計画」としてふるさと納税を通じて稼げる自治体をめざし、勝谷町長がこのまちの未来を創造する新しい一歩を住民とともに踏み出す予算であると確信する。

後期高齢者医療特別会計予算
(議案第7号)

反対討論

国の責任で安心できる医療制度を
今西利行議員

高齢者が増え、医療費が増えるにつれて保険料が上がるのは、後期高齢者医療制度が持つ問題。国の責任ですべての高齢者が安心して医療にかかる制度の構築を求める。

介護保険特別会計予算
(議案第8号)

特養の状況は

問 特養の待機者数は。また、ショートステイの需要には十分に応えられているのか。

答 サンビレッジ宇治田原の待機者は35人が登録されているが、実際の待機者数とイコールかは別である。ショートステイについては申し込みが集中したときは受け入れられない日もある。



サンビレッジ宇治田原

下水道事業会計予算
(議案第10号)

現在の処理場やポンプ場は

問 下水道を木津川流域下水道に編入した際、現在の処理場やポンプ場はどうなるのか。

答 流域下水道に接続する際には現在の処理場は廃止する。ポンプ場は、下水を流域下水道に送るために機能を残す。



ポンプ場

**第6次まちづくり総合計画（基本構想・基本計画）
及び第3期地域創生総合戦略の策定**
(議案第26号)

- 問 第5次まちづくり総合計画の目標人口が達成されなかったことをどう評価しているか。
- 答 5次総計では、子育てや移住定住の支援に取り組んだが、施策の効果以上に転出が多く、目標人口は達成しなかった。第6次総計では、日本全体の人口減少や少子高齢化の進行を前提とし、最新の社人研推計と町の人口減少対策の効果を踏まえ将来人口の見直しを行った。
- 問 先進自治体では施策の如何で人口を増やしている。将来人口が7,300人というのは、あまりに消極的であり、もっと目標を高く掲げるべきでは。
- 答 社人研の数字は精度が高い。人口減少は国全体の課題であるが、町として実施していく施策により、少しでも人口の上積みを図れるよう取り組みたい。

反対討論

人口減少・少子化対策を第一に
今西利行議員

2040年の人口を7300人としているが、約1300人も減る消極的な目標。人口減少は、住民生活や行政運営に様々な悪影響を及ぼす。施策により、出生率改善や、移住定住は図れる。人口減少・少子化対策を第一とし、若い人や子育て世代、全ての世代の住民の暮らしを支え、自治体の役割をしっかりと進めることが人口増と町の発展につながる。

令和6年度補正予算一般会計
(議案第1号)

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の減額補正は

- 問 2,049万9,000円の減額補正となっているが、もっと事業を考えて交付金を使うべきではなかったか。
- 答 国による低所得者向けの支援と、地方単独事業分として町が独自に施策を行うものとに分かれている。前者は、国が対象者や金額を定めるもので、事業費の確定によって補正を行った。町の単独事業分は、令和7年度の当初予算で限度額いっぱい使うこととしているので、使われなかった予算があるのではとのご指摘はあたらないと考える。

家庭用太陽光発電・蓄電設備設置補助事業費の減額補正は

- 問 昨年は多くの補助申請があったが、今年度は275万4,000円の減額補正になっている。どのような事情が考えられるか。
- 答 今年度は、売電契約に伴う従来制度分について、国から割り当てられた予算をすべて使うことが出来たが、売電契約を伴わない新制度分は需要が少ないため、さらに周知が必要と考える。

令和6年度国民健康保険特別会計補正予算
(議案第2号)

保険給付費の減額に対する評価は

- 問 今回の補正で減額された金額のほとんどが一般被保険者分の療養給付費と高額療養費の保険給付費であるが、このことをどのように評価しているのか。
- 答 被保険者が1,500人程度の本町のような小さな保険集団では、規模の大きい集団と比較して加入者1人当たりの平均給付額が不安定になる傾向があり、今年度の支出が過去3カ年平均に対して減ったという結論となった。これについては、本町が進めている保険事業や特定保健指導等の成果との関連性を定量的に分析できないものの、これら事業を通じて疾病に罹られる、持病になられる率が下がり、医療にかかられることが減っている部分もあるのではないかと考える。

令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算
(議案第3号)

反対討論

命を脅かす制度に反対
今西利行議員

高齢者は、病気にかかりやすく、治療にも時間がかかる。この間、保険料や窓口負担の引き上げで、必要な医療が受けられない高齢者がいる。負担増を押しつけ、命と健康をおびやかす後期高齢者医療制度に反対する。

人事案件



○人権擁護委員の推薦同意

しお みる ひろ し
潮 見 博 司 氏

(郷之口)



ほり ぐち み わ こ
堀 口 美和子 氏

(南)

任 期
令和7年7月1日～
令和10年6月30日まで



○監査委員の選任同意

うえ の まさ お
上 野 雅 央 氏

(南)

任 期
令和7年3月27日～
令和10年11月14日まで

総務建設常任委員会

3月11日、付託議案5件を審査した。また、まちづくり推進課、上下水道課より所管事項報告があった。主な質疑は次の通り。

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
(議案第13号)
人事院勧告に基づく国家公務員の給与制度改正に準じた関係条例の改正を行う

傍聴のご案内

宇治田原町議会を傍聴しませんか。傍聴券は本会議・委員会当日に町役場3階議会事務局で発行致します。議会の日程などはホームページ(<http://www.town.ujitawara.kyoto.jp>)をご覧ください。議会事務局(☎ 88 - 6641)までお問い合わせください。



議会の日程は
こちらから

制度はどう変わるのか

- 問 育児のため超過勤務を免除されている職員数は。
- 答 現行制度の対象である職員は10名、改正により14名に増える。
- 問 仕事と介護の両立支援について親が介護状況になれば制度を利用できるのか。
- 答 介護休暇は負傷、疾病、老齢により日常生活を営むのに支障がある親族の介護を行う場合に取得できる。

宇治田原町消防団員等公務災害公務災害補償条例の一部改正
(議案第15号)
政令の改正に伴う保障基礎額等の改定を行う

災害公務災害補償の範囲は

- 問 消火作業にあたった火災現場の一般人も災害補償の対象になるのか。
- 答 消火作業にあたっていたの方は消防作業従事者として対象になる。

〈報告事項〉

まちづくり推進課

- 新名神高速道路建設事業の進捗

上下水道課

- 水道事業及び下水道事業経営等審議会令和6年度第1回会議結果

文教厚生常任委員会

3月12日、付託議案5件を審査し、質疑はなかった。また、健康対策課、子育て支援課、学校教育課、社会教育課より所管事項報告があった。

〈報告事項〉

健康対策課

- 第2期宇治田原町健康増進計画中間見直し策定に係る住民アンケート調査結果

子育て支援課

- 令和7年度宇治田原町立保育所入所申込み状況

学校教育課

- 令和7年度小中学校児童・生徒数、学級数の見込み

社会教育課

- 令和7年度放課後児童健全育成施設入所申請状況

女子差別撤廃条約選択議定書の批准に向けた検討を求める意見書（要旨）

1979（昭和54）年、国連は、あらゆる分野で女性が性に基づく差別を受けない権利と平等の権利を保障する女子差別撤廃条約を採択し、日本は、1985（昭和60）年、この条約を批准した。2024（令和6）年現在、189 箇国が批准している。

1999（平成11）年には、条約の実効性を強化し女性が抱える問題を解決するために、個人通報制度と調査制度を定めた「女子差別撤廃条約選択議定書」が国連総会で決議・採択され、2000（平成12）年12月末に発効している。2024（令和6）年現在、条約批准 189 箇国中、115 箇国が選択議定書を批准しているが、日本はまだこれを批准していない。

選択議定書の個人通報制度とは、条約で保障された人権を侵害された被害者が、国内の救済手続を尽くした後、条約

機関に申立てを行うことができ、条約機関がこれを審査して見解を出すという制度である。

政府は、第5次男女共同参画基本計画で「女子差別撤廃条約の選択議定書については、諸課題の整理を含め、早期締結について真剣な検討を進める」としており、司法制度や立法政策との関連での問題の有無、また同制度を受け入れる場合の実施体制等について検討が必要である。

ついては、国におかれては、その課題の整理を進めるとともに、各方面からの意見等も踏まえ、慎重かつ丁寧に締結への環境整備に向け、検討を早期に進めることを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年3月27日 宇治田原町議会

議決のあらましと表決結果

種別	議案番号	議案名と内容	賛成討論	反対討論	結果	谷口	光島	堀口	浅田晃	山本	今西	浅田賢	上野	山内	藤本	田中
発委	発委第1号	宇治田原町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて (法律の改正に伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書	意見書第1号	女子差別撤廃条約選択議定書の批准に向けた検討を求める意見書（案）について			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人	議案第27号	人権擁護委員候補者の推薦について (潮見博司氏の推薦)			同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第28号	人権擁護委員候補者の推薦について (堀口美和子氏の推薦)			同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
事	議案第29号	宇治田原町監査委員の選任について (上野雅央氏の選任)			同意	○	○	○		●	●	○	△	○	○	○
令和6年度補正予算	議案第1号	一般会計補正予算（第5号） (各種事業の決算見込みなど) 【1億3,686万4千円の追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第2号	国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第3号） (保険給付費の決算見込みなど) 【6,917万円の減額】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第3号	後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） (後期高齢者医療広域連合への納付金の増に伴う補正) 【117万8千円の追加】		✓	可決	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
	議案第4号	介護保険特別会計補正予算（第4号） (保険給付費の決算見込みなど) 【保険事業 618万3千円の減額】 【介護サービス事業 59万1千円の追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度当初予算	議案第5号	一般会計予算 【56億8,800万円 前年度比5.4%増】	✓	✓	可決	○	○	○		●	●	○	○	○	○	○
	議案第6号	国民健康保険特別会計（事業勘定）予算 【10億438万2千円 前年度比9.2%減】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第7号	後期高齢者医療特別会計予算 【1億8,562万7千円 前年度比3.2%増】		✓	可決	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
	議案第8号	介護保険特別会計予算 【8億8,084万8千円 前年度比1.9%減】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第9号	水道事業会計予算 【5億6,194万8千円 前年度比3.8%増】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第10号	下水道事業会計予算 【9億2,409万4千円 前年度比8.4%増】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

* 原田議長は賛否同数以外は表決に加わりません

議決のあらましと表決結果

[○賛成・●反対・▲退席・一欠席・△除斥]

種別	議案番号	議案名と内容	賛成討論	反対討論	結果	谷口	光島	堀口	浅田晃	山本	今西	浅田賢	上野	山内	藤本	田中
条例改正	議案第11号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例を制定するについて (法律改正に伴う関係条例の整備)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第12号	情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例を制定するについて (法律の改正に伴う条例の所要の改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第13号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて (法律の改正に伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第14号	宇治田原町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて (人事院勧告に基づく国家公務員の給与制度改正に準じた関係条例の改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第15号	宇治田原町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例を制定するについて (政令の改正に伴う補償基礎額等の改定)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第16号	宇治田原町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて (法律改正等に伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第17号	宇治田原町介護保険条例の一部を改正する条例を制定するについて (介護保険第1号被保険者で市町村民税の課税情報のない未申告者に対する介護保険料賦課の運用上の変更を行うための改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第18号	宇治田原町指定介護予防支援等事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を制定するについて (法律改正等に伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第19号	宇治田原町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定するについて (法律改正等に伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第20号	宇治田原町老人医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて (府老人医療事業費補助金交付要綱の改正に伴う改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第21号	宇治田原町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を制定するについて (法律改正等に伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第22号	宇治田原町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を制定するについて (法律改正等に伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第23号	宇治田原町企業立地促進条例の一部を改正する条例を制定するについて (既定の失効期日延長に伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第24号	宇治田原町町内雇用促進条例の一部を改正する条例を制定するについて (既定の失効期日延長に伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	議案第25号	都市計画道路宇治田原山手線建設工事委託に関する協定の一部変更について 【変更後契約金額 9億8,321万7,340円】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第26号	宇治田原町第6次まちづくり総合計画（基本構想・基本計画）及び宇治田原町第3期地域創生総合戦略の策定について (第6次まちづくり総合計画及び第3期地域創生総合戦略の策定)	✓		可決	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○

* 原田議長は賛否同数以外は表決に加わりません

一般質問

町政を問う



議会公式
Youtubeチャンネル

一般質問とは、議員が行政全般にわたって執行機関である町に対し、事務の執行状況や方針などを質問します。

3月6日～7日

	質問者	質問事項
1	山本 精 (P10)	1. 水質状況について 2. 子育て支援について *
2	山内実貴子 (P11)	1. 子育て支援について * 2. 公共交通等、移動手段について
3	田中大典 (P11)	1. 堤防の桜並木について
4	上野雅央 (P12)	1. 有害鳥獣対策について 2. インバウンドを見据えた取組について
5	今西利行 (P12)	1. 町長の政治姿勢について 2. 公約に基づく具体的な施策について
6	藤本英樹 (P13)	1. 新町長の政治姿勢について

	質問者	質問事項
7	堀口宏隆 (P13)	1. 企業誘致について
8	谷口茂弘 (P14)	1. 増収への具体策について 2. 町民の安心安全な暮らし（防災）について
9	浅田賢茂 (P14)	1. 消防団団員報酬について 2. 学校給食について
10	光島善正 (P15)	1. 移住定住の対策について
11	浅田晃弘 (P15)	1. 観光行政について 2. 教育行政について

* 印の質問事項は本紙には掲載しておりません。詳しくは録画による動画配信をご覧ください。

PFASの水質調査は

水道水の安全性は確保



やまもと ただし
山本 精議員

問 有機フッ素化合物 PFAS について、アメリカのナショナル・アカデミーは①抗体反応の低下、②脂質代謝異常、③幼児及び胎児の成長の低下、④肝臓がんのリスクの増加などのリスクがあることを明らかにしている。アメリカは水質基準を PFOA と PFOS は 4 ng/ℓ 未満とすることを決めている。これに対して日本では、水質基準の「暫定目標値」が 50ng/ℓ と非常に緩い基準になっている。本町の水質調査は。

答 (上下水道課長)
本町では、3つの浄水場系統全ての

末端の浄水について、令和2年7月から年1回検査を実施。最大値は令和4年の 35ng/ℓ であり、水道水の安全性は確保されている。

問 最近、京田辺市での河川調査で、56～300 ng/ℓ の PFAS が検出された。本町の地下水や河川の水質調査は。

答 (建設環境課長)
京都府にて河川の水質測定が実施されており、本町内では田原川蛭橋付近で測定されている PFOS 及び PFOA の合算値は令和6年度速報値で 33ng/ℓ と公表している。



水質測定している蛭橋付近

公共交通利用対策は高齢者施策か

各世代に対して利用促進を図る



やまうち きこ
山内実貴子議員

問 高齢になり、自動車免許返納後に町営バスやタクシーを利用したい、料金が安くなれば利用が増える、などの声がある。それで本当に乗る人が増えるのか。高齢者への負担軽減策ではなく、高齢になる前、つまり早期の行動変容が必要と考えるが、高齢者への考えは変わらないのか。

答 (町長)
将来にわたる住民の移動手段確保への方法を検討していく。高齢者も含めた各世代に対して、公共交通の利用促進を図り、普段日常において公共交通

のある生活が構築できるよう、本町に適した交通体系を構築していく。

問 今後、シニアカーが免許を返納した高齢者の足となる可能性が増えるのではないかと。シニアカーは道路交通法上では歩行者扱いで、ルールを知らないと「なぜ歩道を走行しているのか」との言葉も聞く。住民にシニアカーの正しいルールを周知すべきでは。

答 (総務理事)
利用者も含め、住民の皆さますべての認識が必要と考えており、町 HP や広報紙を活用し周知を行っていく。



宇治田原町営バス、なごみ号

川沿いの桜並木の管理は

安全第一に保全管理に努める



たなかひろのり
田中大典議員

問 町内を流れる川の一部堤防には桜並木があるが、現在桜の管理は誰が行っているのか。

答 (建設環境課長)
桜の植樹から相当年数が経っており、管理者はわからない。道路管理の一環として、害虫駆除の薬剤散布など役場建設環境課にて行っている。

問 木が道路の上まで広がっている。倒木や枝の落下が原因の事故が発生してはならない。事故が発生すれば、責任はどうなるのか。

答 (建設環境課長)
町道にて管理に瑕疵があった場合は役場に対応する。事故が起こればよう点検を実施し、必要に応じて剪定など対策を行っている。

問 美しい景観を引き継ぐ管理の担い手は今後どうするのか。

答 (建設環境課長)
安心安全に道路を通行できるよう安全第一で管理に取り組む。景観を維持する管理団体の立ち上げなどの方策は議員も一緒に検討いただきたい。



立ち枯れしている桜の木

モンキードッグの導入状況は

今年度3頭目の養成をした



うえの まさお
上野雅央議員

問 町内全域で広がる野猿被害に対し、モンキードッグの導入状況と今後の対策は。

答 (産業観光課長)

町内で深刻化している野猿被害に対し、モンキードッグの導入を進めており、今年1月には3頭目の養成が完了した。地元地域では「被害が明らかに減った」との声も聞かれており、効果を実感している。今後も有害鳥獣対策協議会と連携しながら、新たな候補犬の養成や防護柵の整備を進め、農作物被害の軽減を図っていく。

インバウンドを見据えた取り組みは

問 訪日観光客増加を見据えた町の観光施策と、鷲峰山トンネル開通を活かした取り組みは。

答 (町長)

ゲストハウス誘致などを進め、新たな町内消費や雇用創出をめざす。今年度開通した鷲峰山トンネルは、「お茶の京都」として府南部の産地をつなぐ重要な基軸であり、町の歴史や文化、日本緑茶発祥の地としてのブランド力を活かした誘客策を関係機関と連携しながら検討していく。



養成された3頭目のモンキードッグ

重大事件の認識は

二度と起こさない責務がある



いまにしとしゆき
今西利行議員

問 元町幹部職員が起こした官製談合・加重収賄事件は、4年経った今も住民の中に影を落としている。勝谷町長のこの事件に対する認識は。

答 (町長)

この重大事件を当事者だけの問題とせず、町職員全体が重く受け止め、二度とこのようなことを起こさないようにする責務があると感じている。入札不正再発防止策の検証を徹底し、不正を生じさせない制度や組織づくり等に邁進することが、重大な使命と心得、住民の信頼回復に努める。

高校生通学バス代の全額補助は

問 保護者の大きな負担となっている高校生の通学バス代について、新年度、拡充されることは評価するが、少子化対策、移住定住の観点からも、全額補助は最重要課題であり早急な実施は。

答 (町長)

令和7年度、課税世帯の補助割合を2分の1から3分の2に拡充し、保護者負担の軽減に取り組んでいる。今後、ふるさと納税の寄付額の増加により財源が確保できた際には、全額補助なども実施したい。



入札不正再発防止策



高校生の通学バス代の全額補助を

宇治田原山手線整備の後は

本町の未来のため全力で取り組む



ふじもとひでき
藤本英樹議員

問 新町長は「宇治田原山手線早期整備」を公約に掲げられているが、道路整備は本町独自で実施できる事業ではない。前町長が築いてきた近隣市町や府、国との強いパイプも全く無くなってしまった。国や府が宇治田原山手線を計画通り事業実施する保証がどこにあるのか。

答 (町長)

前町長が全身全霊で取り組んでこられたインフラ整備には敬意を表し、感謝を申し上げたい。実績や経験豊富な前町長と同様に道路行政を進めること

は、難しいと認識しているが、前町政を継承し、未来に向けて発展させていきたい。

そのためにも、近隣市町・府・国と連携していけるよう、誠心誠意取り組んでいく。

「働けるまち、稼げるまち」を具現化するための基盤づくりとして「宇治田原山手線早期整備、新名神高速道路開通を見据えた企業誘致」を掲げており、道路の完成なくしては、企業誘致、地域活性化も難しいことは、十分認識している。



山手線整備啓発看板

企業誘致と今後の見通しは

人脈等も活用して進めていきたい



ほりくちひろたか
堀口宏隆議員

問 新町長は今後どのような方針をもって進めていけるのか。

答 (町長)

西谷前町長が取り組まれてきた「まちづくり」をベースに、私自身、積極的なまちづくりと、そのための道づくりはこれからも進めてまいる所存。

問 考え方はわかるが、西谷前町長とは何が違うのか住民は明確に知りたいと思う。どう違うのか具体的に答弁していただきたい。

答 (町長)

公務員時代に知り合ったネットワー

クそのあたりをしっかりと、相談とか連携とか活用とかしながら進めてまいりたいと思う。

問 将来を見据えた対応策はぜひとも必要であると思う。今後、10年先、20年先を考えたとき、他の自治体に遅れを取らぬよう体制・組織・人員の整備が求められると思うが、どうか。

答 (町長)

本町が秘めるポテンシャルを最大限に発揮するため、私の持つネットワークも活用する中で、自ら率先してトップセールスをしていきたいと考える。



土地利用構想図

寄附額4億円への増収の具体策は

さまざまな手法を使い挑戦



たにぐちひろし
谷口茂弘議員

問 苦労の末、一昨年以降、年間2億円超としたふるさと納税等の寄附額を、4億円とする具体策は。

答 (町長)

今ある品をしっかりと育て、起業・創業の支援、商品開発や販路拡大の後押しなどにより、まちに好循環を生み出し、目標額獲得に向け挑戦を続ける。

高齢者、障がい者や子どもたちの安全、適切な避難については

問 すべての独居高齢者等に地域役員が日頃から接し、災害時には避難を促す取組を全町に拡充しては。

答 (総務理事)

各地域で実効性のある避難支援が行えるよう自主防災会と連携・協力する。

問 多くの住民が興味を持って参加できる防災訓練への創意工夫を。

答 (総務理事)

災害を自分事として捉え、様々な意見や価値観を共有し、防災意識を高める訓練を計画していく。

問 マイタイムライン作成など家族で災害時の避難行動を話す機会作りを。

答 (総務政策監)

自主防災会と連携し、周知啓発する。



ふるさと納税品を活用した事業(例)



総合防災訓練の様子



あさだ たかしげ
浅田賢茂議員

問 本町の消防団員不足は極めて深刻であり、団員報酬を上げることで、訓練の参加率を上げ、新規団員の獲得を斡旋できる。出動報酬1時間1,000円をベースに支給できないか。

答 (総務理事)

団員報酬は、令和4年4月より年間36,500円に引き上げられ、出動報酬は1日8,000円を標準に活動内容に応じて設定しており、綴喜2市2町が歩調を合わせて定めている。本町としてもより良い環境づくりと、処遇改善に取り組んでいる。

中学校の給食時間を延ばしては

問 本町の学校給食は全国2位に選ばれ美味しいと定評があるが、中学校の給食時間が短いと聞く。健康の観点からも時間を延ばし「美味しい教材」を使った食育の時間を設けてはどうか。

答 (教育次長)

現在、中学校の給食時間は30分間で準備・喫食・片付けとなっており、時間延長には様々な課題が想定される。献立表に加え、給食だよりを発行し、食の知識高揚を図っており、今後も宇治田原ならではの良さを活かしたい。



小型ポンプ操法訓練中



全国2位の学校給食

移住定住の対策は

空家バンクの活用



みつしまよしまさ
光島善正議員

問 人口減少の渦中にある本町に移住者を受け入れ地域の活性化を図りたい。移住促進支援施策の取り組みは。

答 (まちづくり推進課長)

公式インスタアカウント『うじたわらいく』や移住定住ポータルサイト等で移住に関する情報を発信、「お試し住宅」や「空家バンク」の運営で移住促進をはかる。転入新婚世帯への補助金支援も行っている。

問 空家があるのに空家バンクへの登録が少ないのは。

答 (まちづくり推進課長)

空家が個人財産として背景や経緯が異なり画一的に登録が進まない。

問 空家バンクの利用促進のための取り組みは。

答 (まちづくり推進課長)

町広報紙や区・自治会を通した全戸配布で空家バンク制度の周知を図り、空家所有者への個別通知を進め、相続・遺言・空家をテーマとした講演会をこぶき大学で開催し理解を深めてもらう。京都府宅地建物取引業協会の支援も受けマッチングにつなげ、空家対策協議会の意見も受け進めてまいる。



お試し住宅

観光行政の優先度は

高い優先度を持って取り組む



あさだ あきひろ
浅田晃弘議員

問 町政を進めて行かれる中で、観光行政の優先度は。

答 (町長)

観光行政については、観光客の消費行動を通じて地域経済の活性化に多大な影響を与えるものであり、日本緑茶発祥の地の地域ブランド等を活かした積極的な観光施策の推進が必要である。

地域活性化や関係人口・移住者の増加にもつながる分野であり、高い優先度を持って取り組むべきものと考えている。

教育行政の取り組みは

問 全国学力・学習状況調査結果についての取り組みは。

答 (教育次長)

調査結果を踏まえての取り組みとして、各校において研修を実施し教職員が共通理解を持つことで、対象学年や在籍児童生徒への取り組みにつなげている。次に、全児童生徒の保護者の方に「全国学力・学習状況調査の分析と学力向上に向けた取組について」を配付し主体的に学習に取り組み、学ぶことの大切さなどを伝え、家庭学習への啓発にもつなげている。



永谷宗円翁生家

総務建設常任委員会

1月22日、各課の第4四半期の事業執行状況と報告事項4件があった。主な質疑は下記の通り。

〈事業執行状況〉

総務課

設置型組立式給水タンクの保管場所は

問 どこに保管しているのか。

答 中央公園の防災倉庫に保管。

湯屋谷コミュニティ消防センター整備状況は

問 地元調整に時間を要した理由は。

答 当初の整備予定場所が開発地域の問題が生じ、地元区との調整に時間を要した。今年度設計業務を委託することは時間的に困難で次年度に改めて設計業務費を計上する。

企画財政課

ふるさと納税達成状況は

問 本年度目標2億円の達成は。

答 12月末での申込ベースで2億2千万円強で目標2億円は達成済である。

建設環境課

道路施設長寿命化修繕事業は

問 2月の橋梁点検で安全性が確保されたか。

答 今回は1カ所発注し施工した。

産業観光課

おうちで利き茶大会は

問 「おうちで利き茶大会」の今年度申込状況は。

答 非常に好評で979名の応募があり昨年より65名増えた。

森林経営管理譲与基準の変更は

問 森林経営管理譲与基準の変更は。

答 面積割が50から55%に、人口割りが30から25%になった。

〈報告事項〉

総務課

・防災意識向上プロジェクト語り部による防災講演会開催

企画財政課

・入札監視等委員会（令和6年度第2回）開催概要

まちづくり推進課

・第12回宇治田原町地域公共交通活性化協議会の開催の結果
・宇治田原山手北線建設事業に係るNEXCOとの協定変更

文教厚生常任委員会

1月24日、各課の第4四半期の事業執行報告があった。主な質疑は下記の通り。

〈事業執行状況〉

健康対策課

高齢者各種予防接種の接種人数と割合は

問 インフルエンザや新型コロナウイルスワクチンの接種対象者の人数と割合は。

答 10月1日から11月末まででは、新型コロナウイルスは428名、インフルエンザは1,163名となっている。令和7年1月1日時点での65歳以上の高齢者人口を基準とすると、接種率は新型コロナウイルスが15.2%、インフルエンザが41.3%となっている。

学校教育課

中学校体育館空調整備はどのような予定か

問 中学校体育館空調設備等整備事業について、令和7年2月に設計業務入札されるが、空調設備はいつごろ完成予定か。

答 設計業務を2月に入札して空調設備と照明のLED化の設計を行い、令和7年6月補正で工事費を予算計上したい。その後、工事の入札が終われば秋ごろから着手し令和7年度内に完成する見込みで進めたいと考える。

ふるさと応援キャリア教育事業は

問 過去には中学生が生み出した商品の実物を学校公開で目にすることができたが、今回学校公開に間に合わなかった。直接住民の目に触れる機会は考えているか。

答 町民の目に触れる形での商品設置を踏まえ、メディアやいろいろな広報で中学校の生徒が考えた商品が発売されることを広く伝えていきたいと考える。今年度は食品なので置いておくことができなかったことから違う形で広く知ってもらうように努力を続けていきたいと考える。



ふるさと応援キャリア事業で先輩から講義を受ける中学生

インタビュー

やすおかまさと
安岡雅人さん
きよえ
聖枝さん

愛犬月ちゃんと有害鳥獣対策に取り組まれている
安岡夫妻にインタビューしました。

Q. 安岡夫妻自己紹介

A. 2年前に宇治田原に移住してきました。宇治田原の四季折々の自然に癒されています。雅人さんの趣味は薪活（薪作り）と芝生の手入れです。聖枝さんは犬猫が大好きです。

Q. 月ちゃんの紹介

A. 2019年7月生まれ メス 雑種
2019年香川県で生まれた保護犬で、生後すぐに香川県のボランティア団体に保護され、生後3カ月で我が家にやってきました。同居猫3匹と一緒に暮らしています。警戒心が強く、怖がりですが、心を許せば甘えん坊でわがままな可愛い子です。おやつのためなら、すぐに芸も覚えるほどの食いしん坊です。

Q. モンキードッグになるきっかけは

A. 先輩犬のコタロー君の飼い主の方が、庭で吠えていたのを見て、スカウトされたことがきっかけです。モンキードッグの存在は、町民の窓で見えて知っていたので、スカウトされたのは嬉しかったです。

Q. 出勤されてどうでしたか。

A. まだまだ新人ですので、先輩犬タケルくんの後ろで様子を伺っていますが、やる気は十分。負けずに吠えて応援しています。



Q. これからの活動に向けた思いは

A. もちろんモンキードッグとして、悪さをする猿をカッコよく追いかけて、吠えてびっくりさせてみたいです。猿からの被害を防ぐべく、毎日行方を追っているパトロールさんがおられること、モンキードッグが活動していることを町の方に知っていただくことも大事な活動だと思いました。また、保護犬出身の犬でもこうして活躍することで、保護犬のかわいそうなイメージを変えていけたら嬉しいです。



活躍が期待される月ちゃん



満開の桜が祝う入学式



小さな頃から茶の心を（親子お茶会）



人も元気なさくら福祉まつり

編 集 後 記

茶の木の緑が照り映る季節になりました。新生活もスタートし春は出会いと旅立ちの季節でもあります。

新たな環境に不安を感じ悩んでいるときは、自分が成長している証。人と人の間は「人がつなぐ」手を差し伸べ合えば届く距離に人はいる。「ハートのまち宇治田原」みなさまと共に。

広報編集副委員長 浅田賢茂



次回議会の予定
〈6月定例会〉
6月4日(水)開会日
詳しい予定はHPにて
お知らせします。